

(様式1)

令和7年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 050	提案機関名 湘南漁業協同組合
要望問題名 チョウセンハマグリ種苗生産技術開発と更なる増殖に係る調査・指導について	
要望問題の内容【背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 当漁協では、藤沢支所において平成14年度からチョウセンハマグリの増殖に取り組んできましたが、近年は他の支所でも放流試験を試みるなど、地域全体でチョウセンハマグリの資源造成に取り組んで参りました。中でも、鎌倉支所においては令和元年から普及員の指導を受け、特別採捕許可に基づき鋤簾や貝桁によるハマグリの分布調査を実施し、新たな漁獲対象種としての手応えを掴み、令和5年の漁業権切り替えに際し、共同漁業の内容としました。併せて、貴重な漁獲対象種とし漁獲物に対し放流歩金（400 円/kg）を設定することにより、更なる増殖と資源管理に取り組んでおります。 一方で、磯焼けの進行により、当組合員の基幹となる刺網やみづき漁の主漁獲対象貝類のサザエ、アワビ類イセエビやタコ類が、餌となる海藻類の枯渇により激減しております。 ハマグリはプランクトン類を餌とするため、磯焼けの影響を受けず成長・増殖し、経験の浅い組合員が鋤簾や貝桁で漁獲することができる、新たな漁獲対象種です。資源の増殖管理に努めれば、手堅い収入源になると大きな期待を寄せております。 一方で、ハマグリの放流稚貝は、千葉県海匠漁協より小さめの漁獲物を購入して放流しておりますが、放流用稚貝調達先は他にないのが現状です。稚貝調達を他県の一漁協の漁獲する天然資源に依存していることは、今後、チョウセンハマグリの資源増殖と管理を図っていく上で大きな不安定要素となっています。 ついては、水産技術センターにハマグリ種苗の生産技術開発を要望いたします。加えて、ハマグリ資源の更なる増殖に係る調査・指導並びにブランド化に向けた支援をお願いいたします。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考 三浦半島地区の漁業者の多くが営み、漁閑期の重要な収入源となっております。	

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画研究部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) チョウセンハマグリの種苗生産基礎技術の開発			
対応の内容等 令和5年度より、チョウセンハマグリの種苗生産技術の開発および資源生態の解明に関する試験研究に着手しておりますが、本年は、ハマグリの餌料となる浮遊珪藻の培養について試験を開始いたしました。今後、これらの研究知見からチョウセンハマグリの種苗生産方法の検討及び資源増殖技術を開発し、現場への普及を目指してまいります。 当該地域でのハマグリ資源の更なる増殖につきましては、今年度は湘南漁業協同組合鎌倉支所による日本水産資源保護協会の補助事業を活用しての種苗放流に合わせて資源調査を行うとともに、来年度以降も同漁協の豊かな海づくり推進協会の補助事業での種苗放流と資源調査に協力していきます。また、引き続き同漁協組合員からなる「鎌倉ハマグリ部会」の総会に合わせての勉強会などの機会を通じて、調査結果を踏まえた資源・増殖管理について指導を行ってまいります。 「鎌倉はまぐり」のブランド化につきましては、PR活動の強化に向けて、ホームページ作成やマスコミを通じた情報発信等について支援し、早期のかながわブランド登録を目指します。			

解決予定年限	① 1 年以内	② 2 ～ 3 年以内	③ 4 ～ 5 年以内	④ 5 ～ 1 0 年以内
備 考				